

学生の確保の見通し等を記載した書類(別添資料)

目次

【資料1】	中学校卒業後の進路動向	
【資料2】	15歳人口の将来推計(全国)	
【資料3】	高等専門学校における入学志願者数推移	
【資料4】	情報工学科の充足状況	
【資料5】	四国に所在する高等専門学校の募集状況	
【資料6】	私立高等専門学校の募集状況	
【資料7】	設置構想に係る学生確保の見通し調査 報告書	
【資料8】	他高等専門学校の学生納付金設定額	
【資料9】	18歳意識調査『第20回-社会や国に対する意識調査-』	
【資料10】	令和3年版高齢社会白書	
【資料11】	平成30年版 情報通信白書	
【資料12】	society5.0	
【資料13】	IT人材需要に関する調査	
【資料14】	IT人材白書2020概要	
【資料15】	IT人材白書2019	
【資料16】	第6期科学技術・イノベーション基本計画	
【資料17】	大学における工学系教育の在り方について	
【資料18】	今後のアントレプレナーシップ教育・スタートアップ創出の推進(案)	
【資料19】	工学系教育改革制度設計等に関する懇談会	
【資料20】	設置構想に係る人材需要の見通し調査 報告書	
【資料21】	独立行政法人情報処理機構DX白書2021	F82
【資料22】	令和3年5月1日現在の本科卒業生の産業別就職者数	F84
【資料23】	IT人材白書2019	F86

学生確保【資料 1】

1（書類等の題名）

中学卒業後の進路動向について
女子中学生の進路動向について

2（出典）

「学校基本調査」文部科学省

【資料2】

- 1 (書類等の題名)
15歳人口の将来推計 (全国)
- 2 (出典)
「学校基本調査」 (文部科学省)
- 3 (その他の説明)
学校基本調査の数値をもとに作成

【資料 3】

1（書類等の題名）

高等専門学校における入学志願者数推移

2（出典）

- ① 「学校基本調査」（文部科学省）
- ② 国立高等専門学校機構及び各学校の公開情報

4（その他の説明）

上記資料の数字から、平成28年～令和元年までの高等専門学校における入学志願者数推移を表にした。

【資料 4】

1（書類等の題名）

情報工学科の充足状況

2（出典）

サレジオ高等専門学校、弓削商船高等専門学校、奈良工業高等専門学校、松江工業高等専門学校、大島商船高等専門学校の公開情報

3（その他の説明）

各高等専門学校の情報工学科での充足率一覧を作成

【資料 5】

1（書類等の題名）

四国に所在する高等専門学校 の 募集状況

2（出典）

阿南工業高等専門学校、高知工業高等専門学校、香川高等専門学校、新居浜工業高等専門学校、弓削商船高等専門学校の公開情報

3（その他の説明）

上記公開情報を元に、平成28年から令和2年（期間は学校による）までの募集状況を表に示した

【資料 6】

1（書類等の題名）

私立高等専門学校の募集状況

2（出典）

私立高等専門学校各 3 校の公開情報

3（その他の説明）

上記公開情報を元に、平成29年から令和3年（サレジオ工業高等専門学校のみ令和2年）までの募集状況を表に示した

【資料 7】

神山まるとごと高等専門学校（仮称）
設置構想に係る学生確保の見通し調査 報告書
（設置構想についての中学生アンケート調査）

令和 3 年 9 月 1 日

株式会社 高等教育総合研究所

神山まると高等専門学校（仮称）
設置構想に係る学生確保の見通し調査 報告書
（設置構想についての中学生アンケート調査）

目 次

1. 調査概要	3
2. 集計結果	4
3. 集計結果のポイント	7

添付資料

- ・ 「神山まると高等専門学校（仮称）」の概要
- ・ 中学生アンケート調査用紙

1. 調査の概要

2023 年度に設置構想中の神山まると高等専門学校（仮称・入学定員 40 名を予定）における学生確保の見通しを測定するために、2023 年度に進学時期を迎える中学 2 年生（2021 年度時点）を対象に「神山まると高等専門学校（仮称）設置構想についての中学生アンケート調査」（無記名式）を実施した。設置予定地である徳島県ならびに四国地方を中心に、兵庫県、岡山県の中学校を含む計 44 校の中学 2 年生 3,265 人から回答を得て集計した結果、次の結果が得られた。

有効件数 3,255 人のうち、神山まると高等専門学校（仮称）を「受験したい」と回答した中学 2 年生は、予定する入学定員 40 名を大きく上回る 373 人であった。そのうち「合格した場合、入学したい」と回答した者は 139 人であり、予定する入学定員 40 名の 3.5 倍であった。また、「合格した場合、他の受験校の結果によって入学したい」としたのは 233 人であった。

調査対象	2023 年度に進学時期を迎える中学 2 年生（2023 年 3 月卒業予定者）をアンケートの対象とした。神山まると高等専門学校（仮称）の設置予定地である徳島県ならびに四国地方の中学校を中心にアンケート実施を依頼し、44 校にご協力いただいた。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> 回答者の基本情報（性別、居住地、高等専門学校全般について興味・関心をもった特色、中学卒業後の希望進路） 神山まると高等専門学校（仮称）について興味・関心をもった特色、受験・入学意思 等 以上、全 8 問ですべて選択肢式。
調査時期	2021 年 4 月～7 月
調査方法	アンケート実施の了承が得られた中学校に「設置構想についての中学生アンケート調査」用紙 及び「神山まると高等専門学校(仮称)の概要」（必要部数）を送付。各校の教職員から調査対象者（中学 2 年生）にアンケート用紙を配布の上、10 分程度の回答時間を設け、その場で回収いただいた。
有効回答数	3,255 件 （回収件数 3,265 件 / 有効件数率 99.7%） ※問 1（性別）と問 2（居住地）の無回答者を無効回答とした。

依頼中学校・実施中学校の県別内訳

	依頼中学校		実施中学校	
	学校数	構成比	学校数	構成比
徳島県	84	5.8%	29	65.9%
香川県	75	5.2%	2	4.5%
愛媛県	134	9.2%	7	15.9%
高知県	113	7.8%	1	2.3%
大阪府	513	35.3%	0	0.0%
岡山県	163	11.2%	1	2.3%
兵庫県	370	25.5%	4	9.1%
合計	1,452	100.0%	44	100.0%

2. 集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 男性	1,667	51.2%
2. 女性	1,547	47.5%
3. その他	41	1.3%
合計	3,255	100.0%

問2 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 徳島県	1,814	55.7%
2. 香川県	89	2.7%
3. 愛媛県	391	12.0%
4. 高知県	120	3.7%
5. 大阪府	0	0.0%
6. 兵庫県	644	19.8%
7. 岡山県	192	5.9%
8. その他	5	0.2%
合計	3,255	100.0%

問3 以下は高等専門学校（高専）の特色です。興味・関心を持った内容を選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 5年間一貫教育で、幅広い分野の教養と専門的な知識・技術を学ぶこと	1,316	40.4%
2. 実験・実習が多く、ハイレベルな実践力を高められること	1,305	40.1%
3. アイデアや実践力等を競い合うコンテストが多数開催されていること	814	25.0%
4. 卒業後の進路に、就職や大学への編入学など、選択肢があること	1,812	55.7%
5. 産業界から評価を得ており、就職率が高いこと	1,494	45.9%
無回答	209	6.4%

※ 問3は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 3,255 人（全回答者の人数）

問4 中学卒業後の進路として、現時点で選択肢に入るものをお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 高等専門学校（高専）に進学	534	16.4%
2. 高校（普通科）に進学	2,665	81.9%
3. 高校（工業科）に進学	447	13.7%
4. 高校（普通科・工業科以外）に進学	542	16.7%
5. 就職	71	2.2%
6. その他	107	3.3%
無回答	20	0.6%

※ 問4は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 3,255 人（全回答者の人数）

問5 設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」は、以下のような学校です。興味・関心を持った内容を選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. テクノロジーとアート・デザインを同時に学ぶことができる	1,302	40.0%
2.アントレプレナーシップを育み、「新しい事業の創り方」を学ぶことができる	456	14.0%
3. 寮生活を通して、「学び」と「生きる」をまるごと得られる	1,129	34.7%
4. 自然豊かな町全体が学びの場である	1,207	37.1%
5. 自分の「やりたい」を考え、ゼロから生み出す力が身につく	1,686	51.8%
6. 起業家やデザイナー、エンジニアなど、多様な経験をもつ教員がいる	1,223	37.6%
無回答	215	6.6%

※ 問5は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 3,255 人（全回答者の人数）

問6以降は、「神山まるごと高等専門学校（仮称）の概要」を確認の上で回答を求めた。

問6 あなたは設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 受験したい	373	11.5%
2. 受験しない	2,827	86.9%
（無回答）	55	1.7%
合計	3,255	100.0%

以下の問7は、問6で神山まるごと高等専門学校（仮称）を「受験したい」とした中学生（373人）が回答対象であった。

問7 あなたは設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」に受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 合格した場合、入学したい	139	37.3%
2. 合格した場合、他の受験校の結果によって入学したい	234	62.7%
合計	373	100.0%

以下の問 8 は、問 6 で神山まると高等専門学校（仮称）を「受験しない」とした中学生(2,827 人)が回答対象であった。

問 8 設置構想中の「神山まると高等専門学校（仮称）」を「受験しない」と回答した理由をお答えください。
（あてはまるもの全てにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 興味・関心のある分野ではないから	976	34.5%
2. 興味はあるが、さらに詳細を知った上で検討したいから	723	25.6%
3. 志望する進路が別にあるから	1,534	54.3%
4. 新設校へ進学するのは不安だから	417	14.8%
5. 寮生活に不安や抵抗があるから	847	30.0%
6. 学費が高いから	1,119	39.6%
7. その他	196	6.9%
無回答	3	0.1%

※ 問 8 は複数回答項目のため、回答数は延べ。

※ 各構成比 = 回答数 ÷ 2,827 人（問 6 で「受験しない」を選択した回答者の人数）

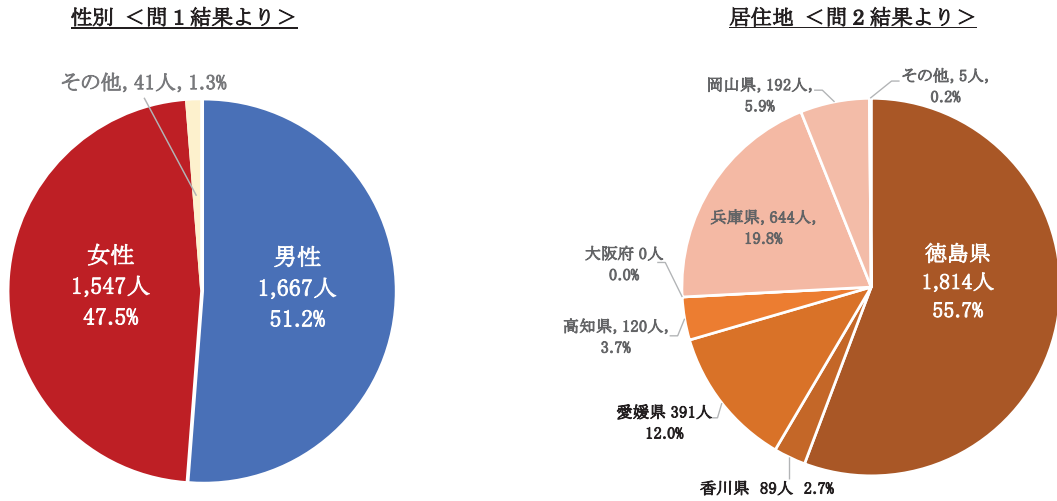
3. 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

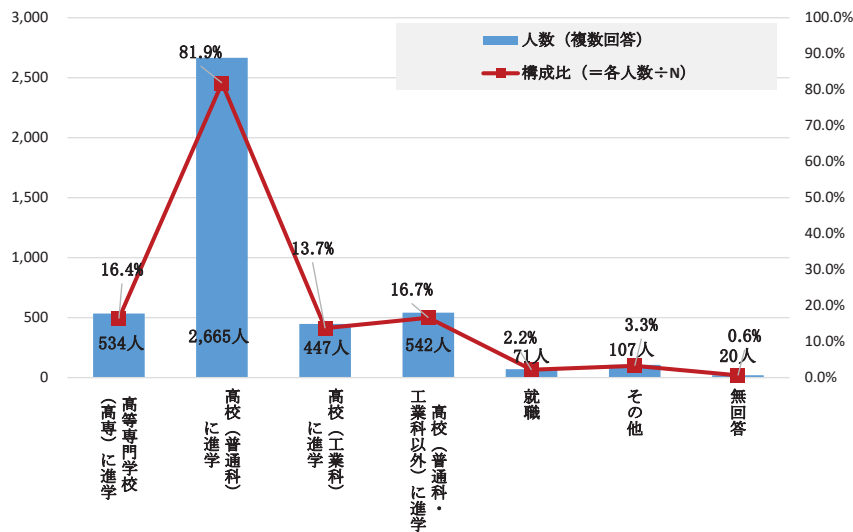
Point 1 7割以上が四国内に住む中学2年生。全回答者のうち、1割以上が「高等専門学校に進学」を希望。

2023年度に開学予定の神山まると高等専門学校について、学生確保の見通しを測定するための中学生アンケート調査を実施した。3,255人の中学生（2023年度に進学時期を迎える2021年度時点で中学2年生）から回答を得て集計した結果、性別で見ると「男性」が1,667人（全体の51.2%）、「女性」が1,547人（同47.5%）であった。回答者を居住地別にみると、学校所在地である徳島県が1,814人（同55.7%）で最も多く、次いで「兵庫県」644人（同19.8%）、「愛媛県」391人（同12.0%）等であった。中学卒業後の希望進路については、「高校（普通科）に進学」が2,665人（全体の81.9%）で最も多く、「高等専門学校（高専）に進学」には534人（同16.4%）が回答し、3番目に多かった（中学卒業後の希望進路は複数回答の結果）。

アンケート調査に回答を示した中学生の属性 すべてN=3,255人



中学卒業後の希望進路 <問4結果より> ※複数回答の結果

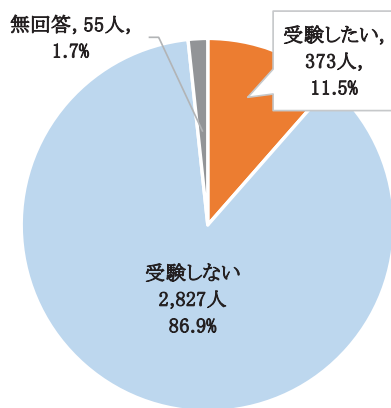


Point 2 「神山まると高等専門学校(仮称)」が予定する入学定員 40 人に対し、計 373 人が受験意志を示し、志願者が見込まれ、「合格した場合、入学したい」は定員の 3.5 倍にあたる 139 人。

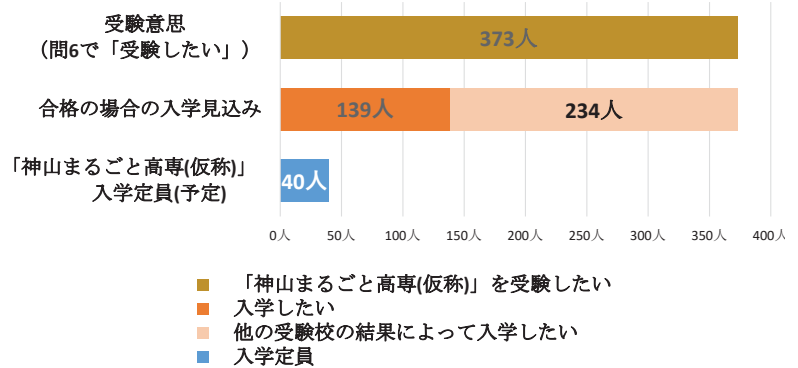
回答を得た 3,255 人に、「神山まると高等専門学校(仮称)」(入学定員 40 人を予定)の概要を提示した上で、受験意思について回答を求めた。その結果、「受験したい」とした者が 373 人(全体の 11.5%)いた。そのうち、139 人が「合格した場合、入学したい」、234 人が「合格した場合、他の受験校の結果によって入学したい」と回答し、入学定員 40 人に対し、多くの入学意思を示す回答が得られた。

「神山まると高等専門学校(仮称)」への受験・入学意思

受験意思 <問5結果より> N=3,255 人



入学意思 <問6・7結果より> N=373 人 (問6で「受験したい」とした人数)



Point 3

・徳島県に住む中学 2 年生のうち、85 人が「合格した場合、入学したい」と回答。また、他県からも入学意思を示す回答を得る。
 ・希望進路で「高等専門学校(高専)に進学」のみを回答し、かつ、「合格した場合、入学したい」と回答した中学 2 年生が 43 人おり、予定する入学定員 40 人を上回る。

「神山まると高等専門学校(仮称)」への受験・入学意思を示した中学 2 年生をより詳細に把握するため、問 2 の「居住地」及び問 4 の「中学卒業後の希望進路」への回答でそれぞれクロス集計を行った。

まず、「神山まると高等専門学校(仮称)」への受験・入学意思を、問 2 の居住地別で見える。「神山まると高等専門学校(仮称)」を受験したいと回答した 373 人のうち、「徳島県」に住む中学 2 年生は 215 人で、そのうちの 39.5%にあたる 85 人が「合格した場合、入学したい」と回答しており、「神山まると高等専門学校(仮称)」の近隣に住む中学 2 年生のみであっても、入学定員 40 人を上回る入学意思を示す回答が得られた。また、「兵庫県」(75 人が「受験したい」、うち 27 人が「合格した場合、入学したい」と回答)や「愛媛県」(27 人が「受験したい」、うち 11 人が「合格した場合、入学したい」と回答)をはじめ、徳島県以外に住む中学 2 年生からも受験意思、入学意思を示す回答が多数得られたことから、徳島県外からの受験者、入学者の可能性が、十分にあることを確認できた。

より明確な入学意思を確認するため、「神山まると高等専門学校(仮称)」に対する受験・入学意思への回答と、問 4 の中学卒業後の希望進路への回答について詳細に見てみる。「神山まると高等専門学校(仮称)」を「受験したい」と回答した 373 人のうち、問 4 において「高等専門学校(高専)に進学」を回

答した中学2年生は189人いた。そのうち、「神山まると高等専門学校(仮称)」に「合格した場合、入学したい」と回答した中学2年生は82人であった。さらに、問4の中学卒業後の希望進路は複数選択可としていることから、より強い入学意思を見るために「高等専門学校（高専）に進学」のみを回答した中学2年生を抽出した。その結果、「神山まると高等専門学校(仮称)」に「合格した場合、入学したい」と回答した中学2年生は43人となり、予定する入学定員40人を上回る、より強い入学意思を示す回答が得られた。

以上のことから、「神山まると高等専門学校(仮称)」の定員充足については問題ないと判断できる。

【居住地別】・「神山まると高等専門学校(仮称)」への受験・入学意思

問2 居住地	問6で「受験したい」	問7で「合格した場合、入学したい」
徳島県	215人	85人
香川県	13人	4人
愛媛県	27人	11人
高知県	13人	4人
兵庫県	75人	27人
岡山県	30人	8人
合計	373人	139人

【希望進路別】・「神山まると高等専門学校(仮称)」への受験・入学意思

<問4の選択肢>

- ①「高等専門学校（高専）に進学」
- ②「高校（普通科）に進学」
- ③「高校（工業科）に進学」
- ④「高校（普通科・工業科以外）に進学」
- ⑤「就職」
- ⑥「その他」

問4 中学卒業後の希望進路	問6で「受験したい」	問7で「合格した場合、入学したい」
①のみ	65人	43人
①・②を選択	68人	20人
①・③を選択	9人	4人
①・④を選択	7人	1人
①・②・③を選択	13人	4人
①・②・④を選択	7人	2人
①・②・⑥を選択	2人	1人
①・③・④を選択	1人	1人
①・②・③・④を選択	13人	4人
①・②・③・⑤を選択	1人	1人
①・②・③・④・⑤を選択	3人	1人
②のみ	125人	41人
その他の組み合わせ ※①は選択していない	59人	16人
合計	373人	139人

神山まるごと高等専門学校

(仮称・設置構想中)

神山まるごと
高等専門学校

テクノロジー × デザインで
人間の未来を変える学校

神山まるごと高等専門学校（神山まるごと高専）が育成する人材

神山まるごと高専では、IT・ソフトウェアに関するテクノロジー教育、技術と社会をつなげるデザイン教育、そして起業家精神（アントレプレナーシップ）を育み、「社会に変化を生み出すデザインエンジニア」を育成します。



神山まるごと高専で身につく力は？

- ① 自分が「やりたい、なりたい、つくりたい」を深く考え、アート思考でゼロから生み出す力
- ② 自分の考えを言語化しわかりやすく伝え、他者を巻き込み発展させるコミュニケーション力
- ③ 創りたいものを実現するためのテクノロジー知識・エンジニアリング力
- ④ 魅力あるサービス・製品を具現化するプロダクトデザイン力
- ⑤ 自ら事業を創り、起業できる知識・ネットワーク
- ⑥ 消費社会ではなく持続可能社会の仕組みを考えることができる力

発起人からのメッセージ～起業を夢見る中学生の皆さんへ～

起業するためには人とのつながり（人脈＝応援してくれる人たち）が非常に重要になってきます。通常は自らそのチャンスを求めて人一倍行動し、人脈を作っていく必要があります。それでも一線で活躍する方々と出会うチャンスはかなり限られています。

本校では教員はじめ一線で活躍する経営者やデザイナー、エンジニアをゲスト講師陣として迎え、積極的につながれる仕組みを用意します。そんな講師陣から学び、ともに深くディスカッションする機会が、自分のアイデアを形にできるチャンス、として感じてくれると嬉しいです。

上記内容は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

ところで高等専門学校（高専）って？

社会で求められる実践（じっせん）的な力を持ち、自ら考え創造することができる技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。全国に57校あり、約6万人の学生が学んでいます。

特色
I

5年間の一貫教育

大学受験の時間を、自ら学ぶ時間に充てることができます。卒業後は大学への3年次編入も可能！

特色
II

高校と大学の学びが融合した学校

高校で学ぶ「教養・基礎」に加え、大学で学ぶ「専門的な知識・技術」が修得できます。

特色
III

理論＋実践 → 学んだ内容が社会で活かせる

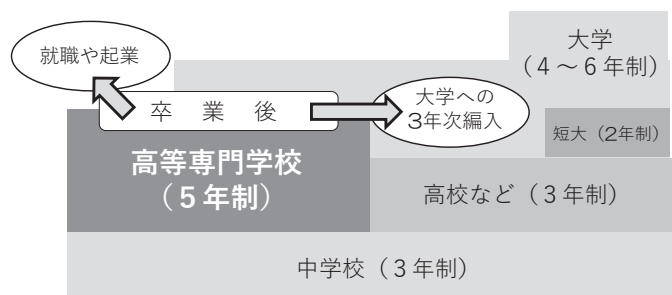
学んだことが社会で実践できるよう、演習・実習・実験等の授業が多く配置されています。

特色
IV

最先端企業などへの高い就職率

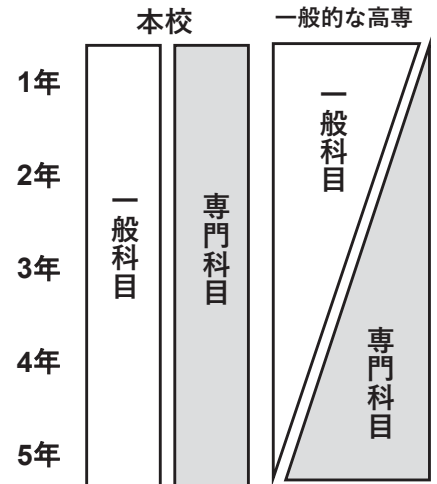
モノづくりへの高い実践力が評価を得ており、様々な産業から多数の求人が集まっています。

高等専門学校（高専）での学びのイメージ



神山まるごと高専って、どんな学びがあるの？

一般的な高専では、入学当初は普通科高校と同様の一般科目を中心に行い、学年が進むごとに専門科目が増えていく「くさび型」教育を行っています。これに対して神山まるごと高専では、1年生から積極的に専門科目（特にプログラミングとデザイン）を学ぶカリキュラムを導入予定です。早くから専門科目に着手することで、卒業時の専門性をより高める効果が期待できるからです。2021年度から全国の中学校でもプログラミングの授業が必修となり、高専ではこれまでよりさらにレベルの高い実践力の修得が期待されます。神山まるごと高専ではこういった社会のニーズにいち早く対応します。また、プログラミング以外の大半の科目でも、理論だけでなく実践を重視した演習中心の授業を展開予定です。



主なカリキュラム構成

一般科目	教養（知識、思考、心の豊かさ）や、専門分野を学ぶ上で必要な基礎力	言語、アート、自然科学、哲学、数学、歴史、社会、環境、体育 など
専門科目	専門分野の知識や技術と応用力	ITを中心としたテクノロジー、デザイン、アントレプレナーシップ、卒業研究

■ 1週間の学びのイメージ

	月	火	水	木	金
1限 (90分)	テクノロジー		アントレプレナーシップ (起業家精神)		
2限 (90分)	テクノロジー		アート/デザイン		
3限 (90分)	一般科目				
4限 (90分)	フィールドワーク				
放課後	・地域とのコミュニケーション ・放課後活動 など				
寮生活					

「学ぶ」と「生きる」がまるごとある毎日

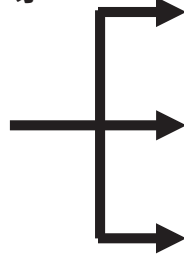
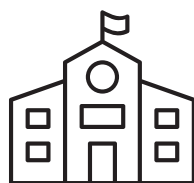
- メリハリのある科目配置
→目的をもって受講できるように、工夫された時間割を展開します。
- スムーズな放課後以降の接続
→地域との接続がしやすいよう、最終時限にフィールドワークを多く配置する予定です。

※左記は一例です。
学年や時期によって配置は異なります

神山まるごと高専を卒業した後の進路

高専卒業後は、就職・編入に加え、「起業」の道も選択できるようにサポートします。
これにより、高等教育としては最も選択肢が広い教育の場を作ります。

神山まるごと高専



企業等への就職



大学への3年次編入



起業

構想中の概要であり、変更となる場合があります。

神山まると高専の概要

- 学 校 名 称： 神山まると高等専門学校（仮称）
- 学 科 名 称： デザインエンジニアリング学科
- 開 設 場 所： 徳島県名西郡神山町（現・神山中学校に加え、新しい校舎を建設予定）
- 修 業 年 限： 5年
- 入 学 定 員： 40人（総学生数200人）
- 取 得 学 位： 准学士（工学） ※称号を付与します。
- そ の 他： 1～3年生は校舎内の寮による生活となります。

神山まると高専の学びにかかる費用は？

- 充実した奨学金（給付型）を用意し、家庭の経済状況に合わせた学費設定を計画しています。
（以下は奨学金の支給がない場合における学費設定です）

入学金	授業料等 (前後期含む)	初年度 納付金	備考(寮に関する費用)
250,000円	2,000,000円	2,250,000円	寮費500,000円、食費300,000円 (ともに年額、予定)

神山まると高専の他に、どんな高専があるの？

区分	学校名	設置場所	学科(コース)
高等専門学校 (私立)	サレジオ工業高等専門学校	東京都	電気工学科、機械電子工学科、情報工学科、デザイン学科
	国際高等専門学校	石川県	国際理工学科
	近畿大学工業高等専門学校	三重県	総合システム工学科 (機械システム、電気電子、制御情報、都市環境)
高等専門学校 (国立)	阿南工業高等専門学校	徳島県	創造技術工学科(機械、電気、情報、建設、化学)
	香川高等専門学校	香川県	機械工学科、電気情報工学科、機械電子工学科、建築環境工学科、通信ネットワーク工学科、電子システム工学科、情報工学科
	新居浜工業高等専門学校	愛媛県	電気情報工学科、電子制御工学科、生物応用化学科、機械工学科、環境材料工学科
	弓削商船高等専門学校	愛媛県	商船学科、電子機械工学科、情報工学科
	高知工業高等専門学校	高知県	ソーシャルデザイン工学科(エネルギー・環境、ロボティクス、情報セキュリティ、まちづくり・防災、新素材・生命)

※上記の他、全国に49校の高等専門学校が所在しています。

徳島県神山町ってどんな町？

- 高速インターネット網を求めIT企業のサテライトオフィスが集まる、自然豊かな田舎町。
- 海外の芸術家を滞在させ、町民との交流を生み出す「アーティスト・イン・レジデンス」や来てほしい移住者を町が逆指名する「ワーク・イン・レジデンス」、地産地食で町の農業をサポートし、担い手を育てる「フードハブ・プロジェクト」など、オープンな懐の深さを武器に、未来の幸せモデルを次々と創造し続けている。地方創生のパイオニアとして全国からの視察が絶えない「奇跡の田舎」。
- 未来のシリコンバレーとなれる要素が詰まった町。



徳島県神山町への主なアクセス



※ 神山まると高専（仮称）は、バス停「神山中学校前」から徒歩5分の場所になります。

上記内容は構想中の概要であり、変更となる場合があります。



神山まるごと高等専門学校（仮称）

〔2023年4月の開設に向け、設置構想中〕

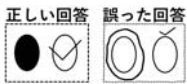


設置構想についての中学生アンケート調査

2023年4月に「神山まるごと高等専門学校（仮称）」＜入学定員：40人（総学生数200人）＞の設置を構想しています。本学では、このアンケート調査を通して、2023年に進路選択を迎える中学2年生の皆様からご意見をお聞きし、構想内容に反映したいと考えています。

なお、回答いただいた皆様から得られた情報は、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の設置構想に係る統計資料並びに、文部科学省への設置認可申請書類の一部資料としてのみ活用いたします。中学生の皆様、アンケート調査へのご協力をよろしくお願いいたします。

※このアンケート調査は、神山まるごと高等専門学校（仮称）から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しています。



問1 あなたの性別をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 男性 女性 その他

問2 あなたが現在お住まいの都道府県をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 大阪府 兵庫県 岡山県
 その他

問3 以下は高等専門学校（高専）の特色です。興味・関心を持った内容を選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 5年間一貫教育で、幅広い分野の教養と専門的な知識・技術を学ぶこと
 実験・実習が多く、ハイレベルな実践力を高められること
 アイデアや実践力等を競い合うコンテスト（※1）が多数開催されていること
 卒業後の進路に、就職や大学への編入学など、選択肢があること
 産業界から評価を得ており、就職率が高いこと

※1 ロボットコンテストやプログラミングコンテスト、英語プレゼンテーションコンテストなど

問4 中学卒業後の進路として、現時点で選択肢に入るものをお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 高等専門学校（高専）に進学 高校（普通科）に進学
 高校（工業科）に進学 高校（普通科・工業科以外）に進学
 就職 その他

裏面にも質問があります。



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。



問5 設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」は、以下のような学校です。興味・関心を持った内容を選んでください。（あてはまるもの全てにマーク）

- テクノロジーとアート・デザインを同時に学ぶことができる
- アントレプレナーシップ（※2）を育み、「新しい事業の創り方」を学ぶことができる
- 寮生活を通して、「学び」と「生きる」をまるごと得られる
- 自然豊かな町全体が学びの場である
- 自分の「やりたい」を考え、ゼロから生み出す力が身につく
- 起業家やデザイナー、エンジニアなど、多様な経験をもつ教員がいる

※2 起業家精神。新しい価値を生み出すことに意欲的に取り組み、失敗しても果敢に挑む姿勢のこと。

以下の質問は、【神山まるごと高等専門学校（仮称）の概要】をお読みの上でお答えください。

問6 あなたは設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」を受験したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 受験したい ⇒ 問7へお進みください
- 受験しない ⇒ 問8へお進みください

以下の問7は問6で「受験したい」と回答した方がお答えください。

問7 あなたは設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」に受験し、合格した場合、入学したいと思いますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 合格した場合、入学したい
- 合格した場合、他の受験校の結果によって入学したい

以下の問8は問6で「受験しない」と回答した方がお答えください。

問8 設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」を「受験しない」と回答した理由をお答えください。（あてはまるもの全てにマーク）

- 興味・関心のある分野ではないから
- 興味はあるが、さらに詳細を知った上で検討したいから
- 志望する進路が別にあるから
- 新設校へ進学するのは不安だから
- 寮生活に不安や抵抗があるから
- 学費が高いから
- その他

質問は以上となります。ご協力いただきありがとうございました。



本アンケート調査用紙に印刷されているQRコードは集計時に使用するものです。個人の特定を目的とするものではありません。

【資料 8】

- 1 (書類等の題名)
他高等専門学校¹⁾の学生納付金設定額
- 2 (出典)
私立高等専門学校各 3 校の公開情報
- 3 (その他の説明)

【資料 9】

1 (書類等の題名)

18歳の意識調査・国別自身について

2 (出典)

18歳意識調査「第20回 -社会や国に対する意識調査-」要約版 (日本財団)
(27ページ・28ページ)

3 (URL)

https://www.nippon-foundation.or.jp/app/uploads/2019/11/wha_pro_eig_97.pdf

【資料 10】

1 (書類等の題名)

高齢化の状況

2 (出典)

令和3年度版高齢社会白書 (内閣府)

第1章第1節 (1ページから6ページ)

3 (URL)

https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2021/zenbun/pdf/1s1s_01.pdf

【資料 11】

1 (書類等の題名)
生産性の必要性

2 (出典)
情報通信白書(平成30年版) (総務省)
第3章第1節(103ページ)

3 (URL)
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h30/pdf/n3100000.pdf>

【資料 1 2】

1 (書類等の題名)

Society5.0とは

2 (出典)

「Society5.0とは」 (内閣府)
(1ページから5ページ)

3 (URL)

https://www8.cao.go.jp/cstp/society5_0/society5_0-1.pdf

【資料 13】

- 1 (書類等の題名)
「IT人材の需要と供給の差（需給ギャップ）の試算結果」
- 2 (出典)
「IT人材需給に関する調査・調査報告書」
(みずほ情報総研株式会社 (2019年3月))
- 3 (引用範囲)
第1章 (調査概要) (2ページ)
第3章 (16ページから18ページ)
- 4 (URL)
https://www.meti.go.jp/policy/it_policy/jinzai/houkokusyo.pdf

【資料 1 4】

1 (書類等の題名)

IT人材の”量”に対する過不足

2 (出典)

「IT人材白書2020」概要 (独立行政法人情報処理推進機構)
(4ページ、7ページ、18ページ)

3 (URL)

<https://www.ipa.go.jp/files/000085256.pdf>

【資料 15】

1 (書類等の題名)

IT人材の流動性

2 (出典)

「IT人材白書2019」(独立行政法人情報処理推進機構)
第1章第1節(26・27ページ)

3 (URL)

<https://www.ipa.go.jp/files/000073566.pdf>

【資料16】

科学技術・イノベーション基本計画

令和3年3月26日

閣 議 決 定

3. Society 5.0 という未来社会の実現

(1) 我が国が目指す社会 (Society 5.0)

Society 5.0 は、第5期基本計画等において「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として提唱²¹されたものであり、第6期基本計画では、これを国内外の情勢変化を踏まえて具体化させていく必要がある。

このうち「経済発展」については、引き続き目指すべき目的の一つであることに変わりはないが、国境のないサイバー空間における経済活動が急激に拡大する中でGDPという指標の持つ意味合いが異なっており、また、人々の価値観も富の追求に限定しない多様な幸せ、更に国や世界への貢献を重視するなど変わりつつある。このような情勢変化を踏まえると、経済発展の大前提となる国民の安全・安心の確保や持続可能で強靱な社会づくり、更には一人ひとりの多様な幸せを追求できる世の中にしていくことが、結果として「経済発展」につながるものと言える。

特に気候変動を一因とする甚大な気象災害やパンデミックの発生などの差し迫った脅威の克服や、今後とも発生するであろう非連続な変化に対する洞察とその準備は、我が国にとって喫緊の課題であり、また、ICTの浸透により、新たな価値として人々の生活をあらゆる面でより良い方向に変化させるDXの推進は、個々のニーズにかなったソリューションを提供する可能性を広げている。そして、これらの実現は、企業のビジネスモデルの変化、更には産業構造の改革につながり、ひいては我が国の国際競争力に資する。

このような背景を踏まえて、我が国が目指す社会を表現すると、「直面する脅威や先の見えない不確実な状況に対し、持続可能性と強靱性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ (well-being) を実現できる社会」とまとめられ、このような未来社会を実現することこそが第6期基本計画を策定する目的である。これは、SDGsとも軌を一にするものである。

① 国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会

我が国の社会や国民生活は、災害、未知の感染症、サイバーテロなど様々な脅威にさらされているとともに、我が国を取り巻く安全保障環境が一層厳しさを増しており、国民の大きな不安の根源の一つとなっている。また、これらの脅威に加え、米中による技術覇権争いの激化、国際的なサプライチェーンの寸断リスクや技術流出のリスクが顕在化するなど、安定的かつ強靱な経済活動を確立することも求められており、我が国の技術的優越の維持・確保が鍵となる。

さらに、環境問題については、人間活動の増大が、地球環境へ大きな負荷をかけており、気候変動問題や海洋プラスチックごみ問題、生物多様性の損失などの様々な形で地球環境の危機をもたらしている。今を生きる現世代のニーズを満たしつつ、将来の世代が豊かに生きていける社会を実現するためには、食品ロス問題をはじめとする従来型の大量生産・大量消費・大量廃棄の経済・社会システムや日常生活を見直し、少子高齢化や経済・社会の変化に対応した社会保障制度等の国内における課題の解決に向け、環境、経済、社会を調和させながら変革させていくことが不可欠となっている。

政府は、科学技術の発展を梃子にして、我が国の国際競争力の強化を図るとともに、これらの様々な脅威に対して常に適切に対応することができる持続可能で強靱な社会の構築や総合的な安全保障の実現を目指すことが求められており、国民の安全・安心を確保すべく様々な取組を充実・強化させる必要がある。その際、科

²¹ 第5期基本計画では、「ICTを最大限に活用し、サイバー空間とフィジカル空間とを融合させた取組により、人々に豊かさをもたらす超スマート社会」と記載されている。

学技術には多義性があり、ある目的のために研究開発した成果が他の目的に活用できることを踏まえ、適切に成果の活用を図っていくことが重要である。

② 一人ひとりの多様な幸せ（well-being）が実現できる社会

経済的「富」の拡大を豊かさの現れと考え、その代表的指標としてGDPの増大を目標としてきた我々の社会は、その結果としての経済優先による環境破壊、世界の富の偏在と社会的分断などの弊害を眼前にしている。

Society 5.0の世界で達成すべきものは、経済的な豊かさの拡大だけではなく、精神面も含めた質的な豊かさの実現である。そのためには、誰もが個々に自らの能力を伸ばすことのできる教育が提供されるとともに、その能力を生かして働く機会が多数存在し、さらには、より自分に合った生き方を選択するため、同時に複数の仕事を持つことや、仮に失敗したとしても社会に許容され、途中でキャリアを換えることも容易であるといった環境が求められる。しかも、そうした働き方によって、生活の糧が得られるとともに、家族と過ごせる時間や趣味や余暇を楽しめる時間が十分に確保されなければならない。

また、多くの国民が人生100年時代に健やかで充実した人生を送るため、健康寿命の延伸だけでなく、いくつになっても社会と主体的に関われるような、いわば「社会参加寿命²²」の延伸に取り組むことが求められる。

さらに、人々がコミュニティにおける自らの存在をいつも肯定的に捉えることができるような、社会において一つの組織を離れても自らの夢を持ち続け、生きがいを持って社会に参加し続けることができるような環境が求められている。それによって自らの能力を向上させ、活躍可能な場を切れ目なく見つけることができるようになることも不可欠である。このような包摂性を持った社会の構築を目指す。

（2）Society 5.0の実現に必要なもの

① サイバー空間とフィジカル空間の融合による持続可能で強靱な社会への変革

Society 4.0（情報社会）から Society 5.0 への移行は、既存の政策の延長線上の政策では不可能である。移行のためには、新たな未来社会像を前提にして、バックキャスト的アプローチにより、社会全体の再設計（リデザイン）を行うことが不可欠である。

その際、鍵となるのが、Society 5.0の前提となる「サイバー空間とフィジカル空間の融合」という手段と、「人間中心の社会」という価値観である。Society 5.0では、サイバー空間において、社会のあらゆる要素をデジタルツイン²³として構築し、制度やビジネスデザイン、都市や地域の整備などの面で再構成した上で、フィジカル空間に反映し、社会を変革していくこととなる。その際、高度な解析が可能となるような形で質の高いデータを収集・蓄積し、数理モデルやデータ解析技術によりサイバー空間内で高度な解析を行うという一連の基盤（社会基盤）が求められる。

このような新しいプロセスに、人間中心という価値観を組み込むことにより、一人ひとりの国民、世界の市民を意思決定の舞台の中心人物として押し上げ、社会はより良い姿へと柔軟に機動的に変化していく。そして、国民一人ひとりに寄り添った利便性の高いサービスを提供するとともに、様々な社会課題を解決し、持続可能で強靱な社会を構築していく。さらには、新たな産業、新たな都市を開花させる道を開き、国際社会に対し、気候変動に代表されるグローバルな課題を克服する新たなモデルを提示することが可能となる。

²² 社会と主体的に関わることができる期間の平均。

²³ 大量の質の高い信頼できるデータが相互に連携し、「地理空間、ヒトや組織、時間」といった構成要素から成り立つ現実世界をサイバー空間で再現したもの。

② 新たな社会を設計し、価値創造の源泉となる「知」の創造

新たな社会を設計し、その社会で新たな価値創造を進めていくためには、多様な「知」が必要である。特に Society 5.0 への移行において、新たな技術を社会で活用するにあたり生じる E L S I²⁴に対応するためには、俯瞰的な視野で物事を捉える必要があり、自然科学のみならず、人文・社会科学も含めた「総合知」を活用できる仕組みの構築が求められている。

また、「知」は、非連続な変化に対応し、社会課題を解決するイノベーションの創出の源泉である。研究者の内在的な動機に基づき、新しい現象の発見や解明、新概念や価値観の提示を行うことで、フロンティアを切り拓いていく必要がある。基礎研究・学術研究をはじめとした多様な研究の蓄積があり、その積み重ねの結果として、時に独創的な成果が創出され、世界を変えるような新技術や新しい知見が生まれる。

③ 新たな社会を支える人材の育成

Society 5.0 時代には、自ら課題を発見し解決手法を模索する、探究的な活動を通じて身につく能力・資質が重要となる。世界に新たな価値を生み出す人材の輩出と、それを実現する教育・人材育成システムの実現が求められる。

急速に社会構造が変化する中、既存の枠組みや従来の延長では対応できない課題に取り組む能力が求められており、初等中等教育の段階から、好奇心に基づいた学びを実現し、課題に立ち向かう探究力を強化する必要がある。

また、人生 100 年時代が到来しており、かつてない長さの人生において、人それぞれが興味・関心に応じた多様な幸せの形を追求するためには、社会人になっても多様な学び直しの機会があり、新しい時代に応じたライフスタイルを追求できる環境が必要である。

あわせて、社会としても「知」の循環を促進し、新たな価値の創造につなげ、人生のどの段階においても、個人の能力が最大限発揮されることや、複線型のキャリアパスが構築できること、新たなチャレンジができることが可能な環境を構築することが求められる。

加えて、あらゆる情報がオンラインで届けられ、コミュニケーションも SNS など非対面かつ匿名で行われるようになると、触れる情報に偏りが生じ、従来のような対面を前提とする人と人のつながりが変化していく可能性がある。このような社会の変化に適切に対応する情報リテラシーが求められる。

また、直接本物に触れる経験が減少していく中、Aを含む STEAM 教育²⁵等を通して、直接本物に触れる経験を積み重ね、感性や感覚を磨いていくことが一層重要になる。

(3) Society 5.0 の国内外への発信・共有・連携

今後のポストコロナ時代の世界秩序模索の期間において、我が国が国際社会をリードするために、新たな社会モデルと価値、そして、それを実現するための戦略を言語化し、“Society 5.0”として国内外に具体的に問いかけていく。

国民に向けては、様々なメディアや共創の場等の活用により、多様なセクター間の対話と協働を促すなど、科学技術・イノベーションへの関心を不断に高めるための情報発信をはじめとする努力を継続し、市民参画に

²⁴ E L S I : Ethical, Legal and Social Implications/Issues. 倫理的・法的・社会的な課題。

²⁵ Science, Technology, Engineering, Art(s), Mathematics 等の各教科での学習を実社会での問題発見・解決に生かしていくための教科等横断的な教育。また、A の範囲をデザインや感性などと狭く捉えるものや、芸術、文化、生活、経済、法律、政治、倫理等を含めた広い範囲で定義するものもある。

よる社会問題の解決やシチズンサイエンスを活性化させていく。

そして、各国・地域・国際機関等（E U、G 7、O E C D等）に向けて、この社会像を共有・連携していく。

言い換えれば、時代の大きな流れである「デジタル化、データ連携・活用」を核とした、社会全体の再構築に取り組む中で、歴史的、文化的に日本人の中に内包されている、伝統的な価値観や他者への思いやりと共感の行動様式²⁶、さらには、信頼に基づいた共創といった要素を盛り込んだ未来像として、世界に提示すべきである。そして、この新たな社会モデルを用いて、価値観を共有する国々と連携し、安全・安心の確保と一人ひとりの多様な幸せ（well-being）の最大化につながる未来像を描いていく。

GDP世界3位の経済規模を持った我が国が、パラダイムシフトともいえる転換期に、世界に先駆けて新たな未来社会を実現することで、世界の注目を喚起し、世界の優秀な人材と未来への投資の関心呼び起こし、世界の「共創の場」としての立ち位置を確立していくことを目指す。そのような立ち位置を確立した暁には、我が国は、国際社会で名誉ある地位を占めることになるだろう。

2025年には大阪・関西万博が開かれる。「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマとする万博は、まさに、Society 5.0のショーケースにふさわしい。機を逸することなく、未来社会の具体像を提示していかなければならない。

²⁶ 例えば、我が国には、長年培ってきた、ある種の「自然との共生」や「分かち合いの価値観」、「三方よし」の倫理観・社会観がある。

【資料 17】

1 (書類等の課題)

大学における工学系教育の在り方について)

2 (出典)

- ・ 「国民経済計算確報」 (内閣府)
- ・ 「グローバルICT産業の構造変化及び将来展望等を感じる調査研究」
(平成27年)
- ・ 「データ利活用推進のための環境整備を求める～Society5.0の実現に向けて～」
(日本経済団体連合会)

3 (その他の説明)

デザイン学の概要と情報学の重要性の説明文をマーキング

【資料 18】

1 (書類等の題名)

アントレプレナー教育の現状について

2 (出典)

「今後のアントレプレナーシップ教育・スタートアップ創出の推進
(案)」(文部科学省学術・学術政策局 産業連携・地域支援課)
(9ページ)

3 (URL)

<https://www.mext.go.jp/content/000076331.pdf>

【資料 19】

1 (書類等の題名)

工学系基礎教育におけるモデル・コア・カリキュラムについて

2 (出典)

「工学系教育改革制度設計等に関する懇談会取りまとめ」 (文部科学省)
(2・3ページ)

3 (URL)

https://www.mext.go.jp/component/b_menu/shingi/toushin/__icsFiles/afieldfile/2018/03/30/1403193_02.pdf

【資料20】

神山まるとごと高等専門学校（仮称）
設置構想に係る人材需要の見通し調査 報告書
（設置構想についての採用意向アンケート調査）

令和3年9月1日

株式会社 高等教育総合研究所

神山まると高等専門学校（仮称）
設置構想に係る人材需要の見通し調査 報告書
（設置構想についての採用意向アンケート調査）

目 次

1. 調査概要	3
2. 集計結果	4
3. 集計結果のポイント	9

添付資料

- ・ 「神山まると高等専門学校（仮称）」の概要
- ・ 採用意向アンケート調査用紙

1. 調査概要

2023 年度に設置構想中の神山まるごと高等専門学校（仮称・入学定員 40 名を予定）における人材需要の見通しを測定するために、卒業生の採用が期待できる徳島県を中心とした四国四県、岡山県、兵庫県、大阪府などの情報通信業、製造業など合計 1,080 箇所を対象に「神山まるごと高等専門学校（仮称）設置構想についての採用意向アンケート調査」（無記名式）を送付した。

結果、回答締め切りまでに 131 件から回答が得られ、集計を行った。神山まるごと高等専門学校（仮称）が養成する人材は「ニーズは極めて高い」と回答したのは 32 件（全体の 24.4%）、「ニーズはある程度高い」と回答したのは 74 件（同 56.5%）であった。このことから 106 件（同 80.9%）が、「神山まるごと高等専門学校（仮称）が養成する人材は社会においてニーズがある」と回答した。

また、神山まるごと高等専門学校（仮称）が養成する人材を「採用したい」としたのは 95 件（同 72.5%）であった。1 件 1 人の採用を最低値として仮定した場合、予定する入学定員 40 名の 2.4 倍である 95 人の採用見込みが得られる結果となり、人材需要は高いと判断できる。

調査対象	神山まるごと高等専門学校（仮称）卒業生の採用が見込まれる徳島県をはじめとする四国四県の他、大阪府、兵庫県、岡山県等を拠点とする情報通信業、製造業を中心とした上場・非上場企業など、合計 1,080 件を依頼対象とした。
調査内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 問 1～3：回答企業等の基本情報（業種、従業員・職員規模、所在地） ● 問 4：高等専門学校卒業生の採用実績の有無 ● 問 5～7：神山まるごと高等専門学校（仮称）が養成する人材の社会的ニーズ、卒業生の採用、神山まるごと高等専門学校（仮称）に期待する点 以上、全 7 問で主に選択肢式。一部記述を含む。
調査時期	2021 年 7 月～8 月
調査方法	調査対象先の採用担当者宛に依頼状・アンケート調査用紙・神山まるごと高等専門学校（仮称）の概要・返送用封筒各 1 部を送付した。ご協力いただける場合、回答済のアンケート調査用紙をご返送いただいた。
有効回答数	131 件（送付件数 1,080 件 / 回収率 12.1%） ※すべて有効回答として集計

依頼企業件数の県別内訳

対象とした都道府県	件数
徳島県	116 件
香川県	60 件
愛媛県	66 件
高知県	26 件
大阪府	329 件
兵庫県	371 件
岡山県	112 件
合計	1,080 件

2. 集計結果

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

問1 貴社・貴機関の主業種として最もよく当てはまるものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 情報通信業	72	55.0%
2. 農・林・漁・鉱業	0	0.0%
3. 運輸業	1	0.8%
4. 建設業	3	2.3%
5. 製造業	31	23.7%
6. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	0.8%
7. 卸売・小売業	4	3.1%
8. 金融・保険業	1	0.8%
9. 不動産業	0	0.0%
10. 飲食店・宿泊業	0	0.0%
11. 医療・福祉	0	0.0%
12. サービス業	10	7.6%
13. その他	8	6.1%
合計	131	100.0%

問2 貴社・貴機関の従業員数および職員数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 50名未満	44	33.6%
2. 50～100名未満	15	11.5%
3. 100名～500名未満	30	22.9%
4. 500～1,000名未満	14	10.7%
5. 1,000～5,000名未満	21	16.0%
6. 5,000名以上	6	4.6%
無回答	1	0.8%
合計	131	100.0%

問3 貴社・貴団体の本社（本部）および主たる事業所の所在地についてお答えください。
（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 北海道	0	0.0%
2. 青森県	0	0.0%
3. 岩手県	0	0.0%
4. 宮城県	0	0.0%
5. 秋田県	0	0.0%
6. 山形県	0	0.0%
7. 福島県	0	0.0%
8. 茨城県	0	0.0%
9. 栃木県	0	0.0%
10. 群馬県	0	0.0%
11. 埼玉県	0	0.0%
12. 千葉県	0	0.0%
13. 東京都	8	6.1%
14. 神奈川県	0	0.0%
15. 新潟県	0	0.0%
16. 富山県	0	0.0%
17. 石川県	0	0.0%
18. 福井県	0	0.0%
19. 山梨県	0	0.0%
20. 長野県	0	0.0%
21. 岐阜県	0	0.0%
22. 静岡県	0	0.0%
23. 愛知県	0	0.0%
24. 三重県	0	0.0%

選択項目	回答数	構成比
25. 滋賀県	1	0.8%
26. 京都府	0	0.0%
27. 大阪府	32	24.4%
28. 兵庫県	32	24.4%
29. 奈良県	0	0.0%
30. 和歌山県	0	0.0%
31. 鳥取県	0	0.0%
32. 島根県	0	0.0%
33. 岡山県	14	10.7%
34. 広島県	0	0.0%
35. 山口県	0	0.0%
36. 徳島県	15	11.5%
37. 香川県	11	8.4%
38. 愛媛県	12	9.2%
39. 高知県	5	3.8%
40. 福岡県	0	0.0%
41. 佐賀県	1	0.8%
42. 長崎県	0	0.0%
43. 熊本県	0	0.0%
44. 大分県	0	0.0%
45. 宮崎県	0	0.0%
46. 鹿児島県	0	0.0%
47. 沖縄県	0	0.0%
合計	131	100.0%

問4 貴社・貴機関の高等専門学校の卒業者を対象にした採用活動についてお答えください。
（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. したことがある	76	58.0%
2. 検討したことがある	23	17.6%
3. 検討したことがない	26	19.8%
4. 分からない	6	4.6%
合計	131	100.0%

問5 「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。
（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. ニーズは極めて高い	32	24.4%
2. ニーズはある程度高い	74	56.5%
3. ニーズはあまりない	7	5.3%
4. ニーズは全くない	1	0.8%
5. 分からない	17	13.0%
合計	131	100.0%

問6 「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材を、貴社・貴機関で採用したいと思われますか。
（あてはまるもの1つにマーク）

選択項目	回答数	構成比
1. 採用したい	95	72.5%
2. 採用しない	28	21.4%
（無回答）	8	8
合計	131	100.0%

問7 「神山まるごと高等専門学校（仮称）」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

※ 46件から回答を得た。以下、回答内容を掲載。順不同。【】内は【業種/従業員・職員規模/所在地】を示す。

1	「仕事とは」の教育。人間力の教育に力を入れ、専門性の高い人材育成（情報通信業 / 50名未満 / 兵庫県）
2	IT分野は、現代社会において、必須の内容となるため、そのような人材を獲得できる機会があることは大変大きいと感じます。しかし、給与面で劣るため、良い人材は結局のところ、大手企業に流れるのではないかと思います。（一時期、他高専生の就職がありました。近年は大手企業と比較され応募者すらない状況です。）（製造業 / 100名～500名未満 / 大阪府）
3	弊社は県内において、おかげさまでこれまで数多くの現場施工に携わらせていただいております。近い将来、貴学生がご入社され、活躍される日が来ることを楽しみにしております。（建設業 / 500～1,000名未満 / 東京都）
4	若い人材を募集しています。（サービス業 / 5,000名以上 / 徳島県）
5	デジタルアーツの考え方で教育を望んでいます。世界で活躍できる人材を期待します。（情報通信業 / 50名未満 / 愛媛県）
6	貴高専の問題ではなく弊社の問題です。（サービス業 / 50名未満 / 愛媛県）
7	問6につきまして、社会人対象のIT教育（主にプログラミング）を行っていますので、新卒は採用していません。（その他 / 50名未満 / 兵庫県）
8	IT、ソフトウェアに力を入れられる点が魅力です。また、全寮制という点も、自立した環境で生活されている点も魅力を感じました。（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 兵庫県）
9	テクニカルアーティストが不足しているので、スキルの高い人材の育成をお願いいたします。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 大阪府）
10	プログラミングスキル以外で設計なども経験していただいていると、就職先の選択肢が広がるのではないかと考えます。（情報通信業 / 500～1,000名未満 / 大阪府）
11	私立ということで、お金を払ってでも学びたい優秀な学生をいかに集めるかだと思います。大変ではないかと存じますが、期待しています。（製造業 / 100名～500名未満 / 岡山県）

12	兵庫県での現状は高専、本科後、大学編入、専攻科後、院進学が多い様です。それはそれで良いと思っているのですが、実技、現場を良く知った技術者は高専出身者が強いと感じています。期待しています。（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 兵庫県）
13	起業化精神のある人材を創ることも大切な事だとは思いますが、中小企業として事業を推進していくにあたっては、事業をともに発展、成長させていけるような人材を求めています。自分がやりたい、なりたい、つくりたいも大事な事だと思いますが、顧客や市場のニーズを的確につかみ、事業に生かせる人材の方を求めます。（サービス業 / 50名未満 / 香川県）
14	当社は神山町様とお付き合いがあり、四国で数少ない高専が新設されるとのことで、大変期待しております。システムエンジニア育成の第一歩として、専門知識を修得されて四国で一緒に働ける人財を期待します。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 香川県）
15	当社は全て親会社からの転籍社員を受け入れているため、新卒の採用はしない。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 兵庫県）
16	正直な感想としては、興味があるといった程度です。貴校が「学校教育法（昭和22年法律第26号）の第1条に掲げられている教育施設であること」が、採用の必須条件になると考えています。（情報通信業 / 50名未満 / 香川県）
17	採用に関しては専攻科（学士相当）を対象にしています。（情報通信業 / 1,000～5,000名未満 / 岡山県）
18	”自分が主役”になる事に関して、非常に良い教育方針だと思います。近年、新卒の方でとくに苦勞するのが、ビジネスマナーや教養のなさです。新しいものを生み出すためにも、歴史あるものや文化、先人への敬意をネットの情報だけでなく実になるものを身につけていただきたい。土台のうすい人にビジネスマナーを教えても、なかなか理解できないようです。教養がある人は、成長も早いしおそらく社会に出て最初は注意されることも少ないと思います。最初が大事なので、本人も少し気が楽だと思います。（情報通信業 / 50名未満 / 高知県）
19	車載の組み込みソフトウェア開発を主業とし、近年毎年3名程度の新卒採用を行っており今後も採用を継続して参る予定です。私事ですが、出身が徳島市であり同市内の高等学校や阿南高専にも採用活動で訪問したこともあります。そのなかで貴校の設立構想を耳にしたことがあり興味を持っていました。弊社は、貴校が目指しているであろう起業を夢見る学生が就職するにふさわしい企業かどうかは疑問ですが、弊社の将来の経営を担う人材として、貴校卒業生を採用出来たらと今から楽しみにしております。（情報通信業 / 50～100名未満 / 兵庫県）
20	工学系の学部は設置した方が、ニーズがあると思う（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 大阪府）
21	今後のIT業界を担っていくのは、若くして専門知識を身につけた方々だと当社は考えております。と言いますのも、日に日に刷新され増え行く知識を取り込み吸収力は若いほど高いからです。つまり、若くして専門知識を学び、若いうちに社会に出ることで最大限のパフォーマンスが発揮できるということです。貴校のカリキュラムは、正に当社延いてはIT業界全体の求める人材の育成を実現するものだと思っております。貴校の卒業生が、場所や職種を問わず活躍する日を心より楽しみにしております。（その他 / 50名未満 / 高知県）
22	自ら考え、売り上げ向上を是として考える事ができる人材を期待します。（情報通信業 / 50名未満 / 兵庫県）
23	弊社と致しましては、実践を重視した「インターンシップ」にご協力させて頂ければ幸いです。早期開設を期待しています。（建設業 / 1,000～5,000名未満 / 東京都）
24	企業に就職するよりも起業家を育成するようなカリキュラムだと感じますので、そこから様々なベンチャーや商品、サービスが生まれてくることを期待します。企業としては、コラボレーションできればと考えております。（情報通信業 / 50名未満 / 香川県）
25	当社、コロナの影響等により、当面新人育成する予定なし（情報通信業 / 50名未満 / 愛媛県）
26	より実践的なカリキュラムによって、即戦力となる人材が育成される事を願います。（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 滋賀県）
27	<ul style="list-style-type: none"> ・高専本科生の能力は高いと思いますが、大学生と違い社会に慣れていない感じがあります。そこをクリアすれば大学生以上の存在になると思います。 ・製造メーカーですが、情報系の技術者が不足しているので入社してほしい。（製造業 / 5,000名以上 / 大阪府）
28	ITにより国も地方も良くなっていくと思います。⑥の原点になりますが、利他や生命誌などから、生きる意味や生き方を考える機会を与えて欲しい。IT×人間力でこれからの若者を育成して下さい。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 大阪府）
29	自己研鑽能力の高い人材の育成（情報通信業 / 50名未満 / 兵庫県）

30	東京とのパイプに依存しない、地域で活動できる人材の育成に期待します。学生がどのような1日を過ごすのか、どのような日々を過ごすのか、非常に興味があります。（情報通信業 / 50～100名未満 / 岡山県）
31	徳島は地元あるいは関西の学生が集結する印象が強く、なかなか他の四国3県から人が集まってくる印象はありません。弊社は香川のIT企業で、「地元で働きたい」という学生が多く受けます。是非、御校では四国4県から学生を確保し、地元のそれぞれの企業への就職あるいは起業をしていくことを期待します。（情報通信業 / 50名未満 / 香川県）
32	弊社は機械系、電子電機学科卒業見込みの方が採用対象となっておりますので予めご了承の程、お願い申し上げます。（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 兵庫県）
33	現在のプログラマーに不足している論理的思考やコミュニケーション力を持った人材であればどこでも歓迎してもらえんと思います。又、育成が難しいかもしれませんが、今後の需要が増えそうなAI系プログラマーやデータサイエンティスト系の知識があれば、さらに優遇されると思います。（情報通信業 / 50名未満 / 兵庫県）
34	高校の指導要領も来年から変わるので、実践的な学びはとてもよいと思うが、教養や技術、実践力に加えて、体力的な授業もいるような気がします。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 愛媛県）
35	持続可能な開発目標 SDGs の取り組みに繋がり、特に環境問題の解決を目指してほしい。（建設業 / 1,000～5,000名未満 / 東京都）
36	IT、ソフトウェアに関するテクノロジー教育が、どのように社会貢献につながるか、また、専門の知識が地方創生、活性化につながるのか期待しています。（金融・保険業 / 1,000～5,000名未満 / 徳島県）
37	高専の学生さんの学力の高さは、存じております。ただ、年齢的な幼い部分を、当社が育成する力量を持ち合わせておらず、採用に至っておりません。（情報通信業 / 50名未満 / 兵庫県）
38	「コミュニケーション力」はかなり重要だと思います。（情報通信業 / 50名未満 / 徳島県）
39	業務に必要な基礎技術を習得した人材の育成を望みます（情報通信業 / 100名～500名未満 / 東京都）
40	VUCAの時代と言われる今、デザイン・テクノロジーといった基礎スキルの重要性が高まっています。これに加え、人を巻き込み、事業を創っていく起業家精神を育む場として貴校を設立される旨を拝見し、弊社としても非常に期待を高めています。また、弊社も代表が高専在学中に起業した会社であり、貴校のコンセプトには非常に親近感を感じています。弊社は副業を解禁しておりますが、この目的の一つに起業家を応援したいという想いを込めております。何か一緒にできることがありましたら、ぜひお手伝いさせて頂ければと思います！ 15歳という可能性にあふれる若者が、貴校での学びを通じて、世界中に大きく羽ばたいていく未来が来ることを楽しみにしております。（情報通信業 / 500～1,000名未満 / 大阪府）
41	柔軟な発想と実践力のあるエンジニアを目指す学生がいらっしゃれば積極的に採用したいと感じました。（製造業 / 1,000～5,000名未満 / 佐賀県）
42	機械メーカーである当社では、機械工学系の高専を採用する。（製造業 / 100名～500名未満 / 大阪府）
43	考える力を身につけてほしい（その他 / 50～100名未満 / 岡山県）
44	情報通信業で、ソフトウェアの開発・保守・導入をおこなう会社で、大阪本社の他、愛媛県松山市、山口県岩国市に事業所があり、毎年、高専生を採用していますので、新規設置されます際にはぜひ、お声がけをお願いします。プログラミング、クラウド、デザインに着目されている点は、とても興味があります。「テクノロジー×デザインで、人間の未来を変える」ということに当社も共感し、ご支援させていただける機会があれば、連絡くださいませ。エンジニア育成をぜひお願いします。（情報通信業 / 100名～500名未満 / 大阪府）
45	非常にローカルな所で学ぶ事になると思われるので全寮制にして、ユニークなゼネラリスト的な人材を多く、育ててほしいと考えます。（情報通信業 / 無回答 / 兵庫県）
46	情報通信業で、ソフトウェアの開発・保守・導入をおこなう会社で、大阪本社の他、愛媛県松山市、山口県岩国市に事業所があり、毎年、高専生を採用していますので、新規設置されます際にはぜひ、お声がけをお願いします。 プログラミング、クラウド、デザインに着目されている点は、とても興味があります。 「テクノロジー×デザインで、人間の未来を変える」ということに当社も共感し、ご支援させていただける機会があれば、連絡くださいませ。エンジニア育成をぜひお願いします。（情報通信業 / 100～500名未満 / 大阪府）

3. 集計結果のポイント

※「構成比」(%) はいずれも、小数点第二位を四捨五入。

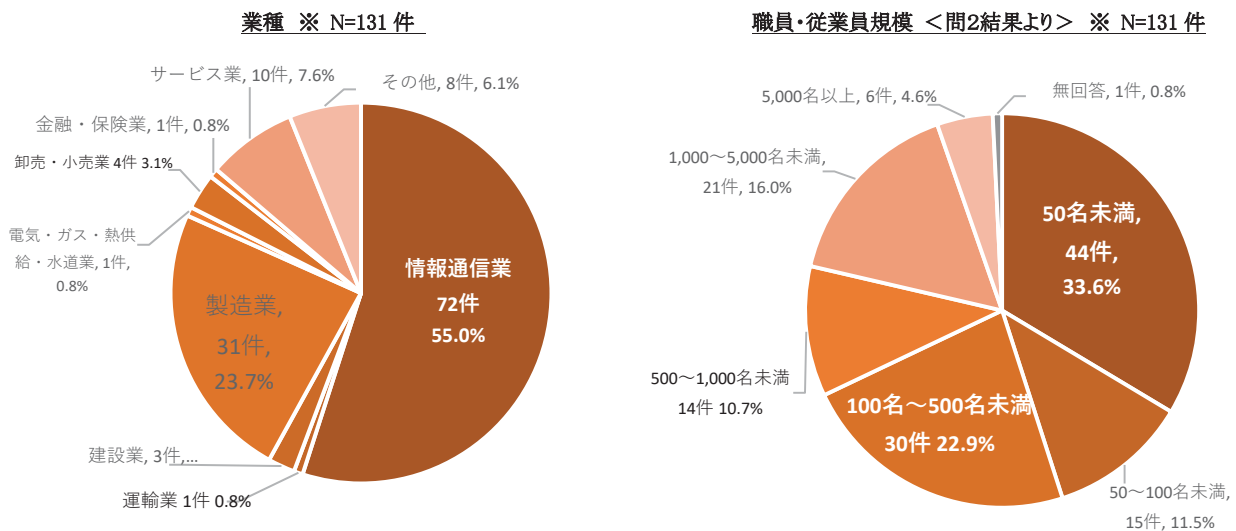
Point 1 四国及び近畿に本部が所在する情報通信業、製造業を中心に、計 131 件が回答。約 6 割が高等専門学校の卒業生の採用について実績があると回答。

2023 年度に設置予定の「神山まるごと高等専門学校(仮称)」に係る「設置についての人材需要アンケート調査」における有効回答 131 件の集計を行った。その結果、業種別（施設種類別）でみた場合、最も回答数が多かったのは「情報通信業」で 72 件（全体の 55.0%）であった。以下、「製造業」31 件（同 23.7%）、「サービス業」10 件（同 7.6%）、「卸売・小売業」4 件（同 3.1%）、「建設業」3 件（同 2.3%）、「運輸業」・「金融・保険業」がそれぞれ 1 件（同 0.8%）、「その他」8 件（同 6.1%）であった。従業員・職員規模別については、「50 名未満」が 44 件（同 33.6%）で最も多い一方で、「100 名～500 名未満」に 30 件（同 22.9%）、「1,000～5,000 名未満」に 21 件（同 16.0%）の回答があり、様々な規模における企業より回答が得られた。

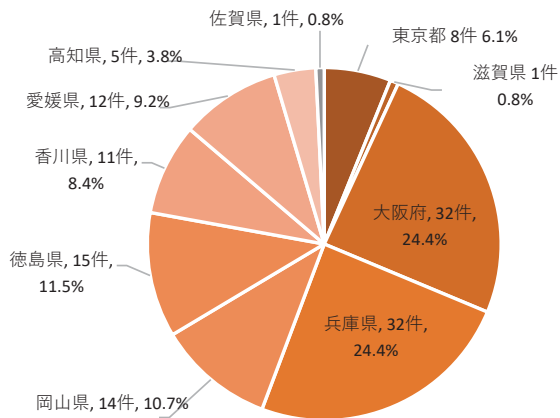
所在地別では、「神山まるごと高等専門学校(仮称)」が所在する「徳島県」が 15 件（同 11.5%）で 3 番目に多い回答であった。その他では「大阪府」と「兵庫県」のそれぞれ 32 件（同 24.4%）、「岡山県」の 14 件（同 10.7%）、「香川県」の 11 件（同 8.4%）への回答が目立った。

なお、回答を得た 131 件のうち、高等専門学校の卒業生を対象にした採用活動の有無について質問したところ、「したことがある」に 76 件（同 58.0%）が回答した。

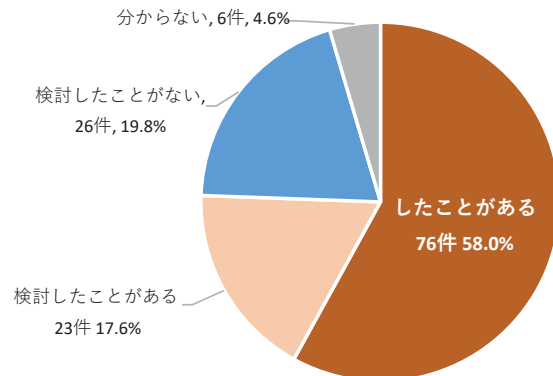
【グラフ】回答元について



主たる事業所・本社の所在地 <問3結果より> ※ N=131 箇所



高専卒業者の採用活動実績 <問4結果より> ※ N=131 箇所



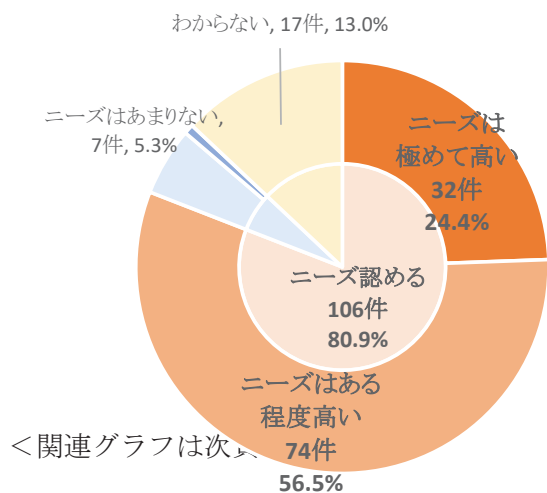
Point 2 「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材について 8 割の 106 件が社会におけるニーズを認め、7 割の 95 件が採用意向を示す。

回答を得た 131 件のうち、設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の養成する人材が今後の社会において「ニーズは極めて高い」としたのは 32 件（全体の 24.4%）、「ニーズはある程度高い」としたのは 74 件（同 56.5%）であった。合計すると、106 件（同 80.9%）が設置構想中の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材の今後の社会におけるニーズを認める結果となった。

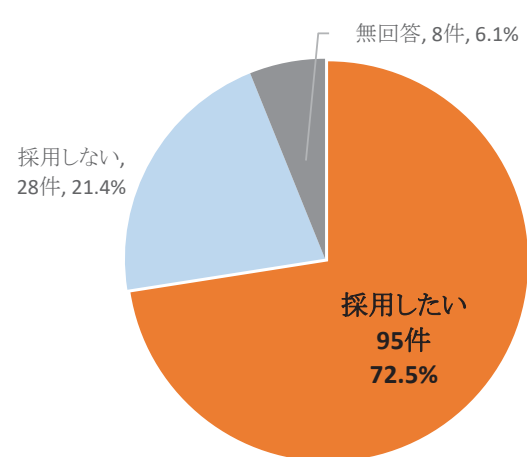
また、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材を「採用したい」と回答したのは 95 件（同 72.5%）であった。「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の入学定員が 40 名であるため、2 倍を超える採用意向が本アンケートで得られた。

【グラフ】設置予定の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の社会におけるニーズ・採用意向について

社会におけるニーズ <問5結果より> N=131 箇所

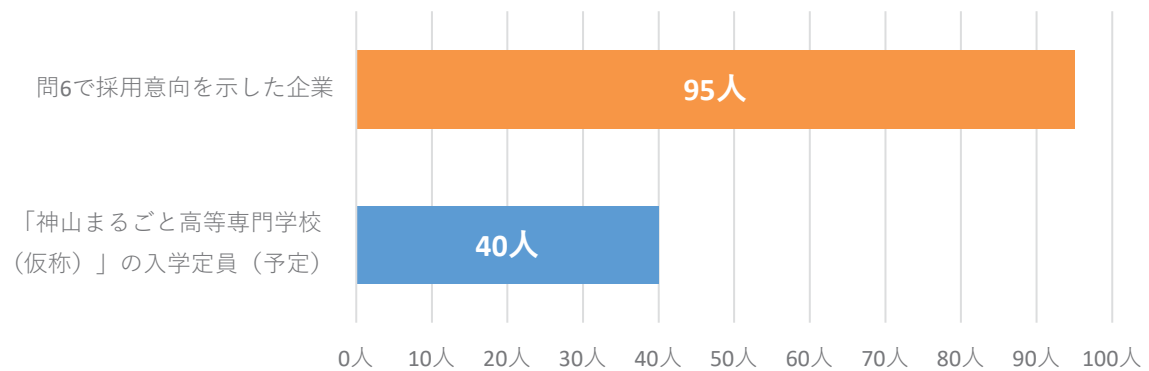


採用意向 <問6結果より> ※ N=131 箇所



<関連グラフは次頁>

「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材の採用意思の合計 <問 6 結果より>
 ※ N=「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材を「採用したい」とした 131 件



**Point
3**

「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材に採用意向を示した企業の特性

「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材を「採用したい」と回答した企業の特性を把握するため、採用意向と各設問間でクロス集計をした上で、回収数との比較を行った。

まず問 1 の業種別で採用意向を見てみると、本調査において回答を得た 9 業種すべてから、「採用したい」との回答を得た。特に、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の卒業生の採用が多く予想される「情報通信業」（回収 72 件のうち、79.2%にあたる 57 件）と「製造業」（回収 31 件のうち、67.7%にあたる 21 件）においては、回収件数の過半数を超える企業より、採用意向を示す回答が得られた。

地域における需要を見るため、問 3 の主たる事業所の所在地別に採用意向を見てみる。本調査において回答があった 10 都府県のうち、すべての都府県から採用を示す回答が得られた。また、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が所在する徳島県を含む四国四県については、回収した 43 件のうち、79.1%にあたる 34 件が「採用したい」と回答しており、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材に対する需要の高さが伺えた。

過去の高等専門学校生の採用実績別で採用意向を見てみると、「（採用活動を）したことがある」企業に加え、「検討したことがある」や「検討したことがない」企業からも、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の卒業生に対し、採用意向を示したことが分かった。具体的には、「（採用活動を）したことがある」と回答した 76 件のうち、80.3%にあたる 61 件が「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材を「採用したい」と回答していることから、過去に高等専門学校生を採用した実績がある企業において、高い需要があると確認できた。また、高等専門学校生の採用実績がないと回答した企業も、「採用したい」と回答していることから、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材が、多くの企業より求められていることが分かった。（「（採用活動を）検討したことがある」（回収 23 件のうち、78.3%にあたる 18 件が「採用したい」と回答）、「（採用活動を）検討したことがない」（回収 26 件のうち、46.2%にあたる 12 件が「採用したい」と回答））

以上のことから、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」が養成する人材については、社会からの需要が非常に高いことが分かった。

【主業種別】・「神山まるごと高等専門学校(仮称)」卒業生の採用意思

問1 主業種	①回収数		②「採用したい」	割合 (②/①)
情報通信業	72件	→	57件	79.2%
運輸業	1件	→	1件	100.0%
建設業	3件	→	3件	100.0%
製造業	31件	→	21件	67.7%
電気・ガス・熱供給・水道業	1件	→	1件	100.0%
卸売・小売業	4件	→	3件	75.0%
金融・保険業	1件	→	1件	100.0%
サービス業	10件	→	5件	50.0%
その他	8件	→	3件	37.5%
合計	131件	→	95件	

【所在地別】・「神山まるごと高等専門学校(仮称)」卒業生の採用意思

問3 所在地	①回収数		②「採用したい」	割合 (②/①)
東京都	8件	→	6件	75.0%
滋賀県	1件	→	1件	100.0%
大阪府	32件	→	26件	81.3%
兵庫県	32件	→	17件	53.1%
岡山県	14件	→	10件	71.4%
徳島県	15件	→	11件	73.3%
香川県	11件	→	11件	100.0%
愛媛県	12件		7件	58.3%
高知県	5件	→	5件	100.0%
佐賀県	1件	→	1件	100.0%
合計	131件	→	95件	

【高専卒業生の採用実績別】・「神山まるごと高等専門学校(仮称)」卒業生の採用意思

問4 高専卒業生の採用	①回収数		②「採用したい」	割合 (②/①)
したことがある	76件	→	61	80.3%
検討したことがある	23件	→	18	78.3%
検討したことがない	26件	→	12	46.2%
分からない	6件	→	4	66.7%
合計	131件	→	95件	

神山まるごと高等専門学校

(仮称・設置構想中)

神山まるごと
高等専門学校

テクノロジー × デザインで
人間の未来を変える学校

神山まるごと高等専門学校（神山まるごと高専）が育成する人材

神山まるごと高専では、IT・ソフトウェアに関するテクノロジー教育、技術と社会をつなげるデザイン教育、そして起業家精神（アントレプレナーシップ）を育み、「社会に変化を生み出すデザインエンジニア」を育成します。



神山まるごと高専で身につく力は？

- ① 自分が「やりたい、なりたい、つくりたい」を深く考え、アート思考でゼロから生み出す力
- ② 自分の考えを言語化しわかりやすく伝え、他者を巻き込み発展させるコミュニケーション力
- ③ 創りたいものを実現するためのテクノロジー知識・エンジニアリング力
- ④ 魅力あるサービス・製品を具現化するプロダクトデザイン力
- ⑤ 自ら事業を創り、起業できる知識・ネットワーク
- ⑥ 消費社会ではなく持続可能社会の仕組みを考えることができる力

発起人からのメッセージ～起業を夢見る中学生の皆さんへ～

起業するためには人とのつながり（人脈＝応援してくれる人たち）が非常に重要になってきます。通常は自らそのチャンスを求めて人一倍行動し、人脈を作っていく必要があります。それでも一線で活躍する方々と出会うチャンスはかなり限られています。

本校では教員はじめ一線で活躍する経営者やデザイナー、エンジニアをゲスト講師陣として迎え、積極的につながれる仕組みを用意します。そんな講師陣から学び、ともに深くディスカッションする機会が、自分のアイデアを形にできるチャンス、として感じてくれると嬉しいです。

上記内容は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

ところで高等専門学校（高専）って？

社会で求められる実践（じっせん）的な力を持ち、自ら考え創造することができる技術者を養成することを目的とした高等教育機関です。全国に57校あり、約6万人の学生が学んでいます。

特色
I

5年間の一貫教育

大学受験の時間を、自ら学ぶ時間に充てることができます。卒業後は大学への3年次編入も可能！

特色
II

高校と大学の学びが融合した学校

高校で学ぶ「教養・基礎」に加え、大学で学ぶ「専門的な知識・技術」が修得できます。

特色
III

理論＋実践 → 学んだ内容が社会で活かせる

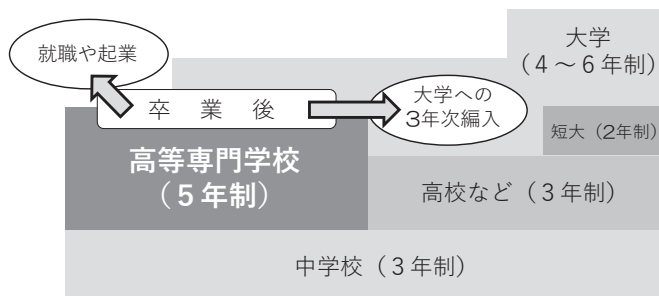
学んだことが社会で実践できるよう、演習・実習・実験等の授業が多く配置されています。

特色
IV

最先端企業などへの高い就職率

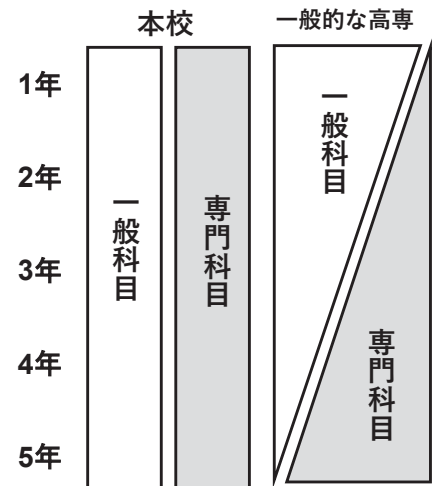
モノづくりへの高い実践力が評価を得ており、様々な産業から多数の求人が集まっています。

高等専門学校（高専）での学びのイメージ



神山まるごと高専って、どんな学びがあるの？

一般的な高専では、入学当初は普通科高校と同様の一般科目を中心に行い、学年が進むごとに専門科目が増えていく「くさび型」教育を行っています。これに対して神山まるごと高専では、1年生から積極的に専門科目（特にプログラミングとデザイン）を学ぶカリキュラムを導入予定です。早くから専門科目に着手することで、卒業時の専門性をより高める効果が期待できるからです。2021年度から全国の中学校でもプログラミングの授業が必修となり、高専ではこれまでよりさらにレベルの高い実践力の修得が期待されます。神山まるごと高専ではこういった社会のニーズにいち早く対応します。また、プログラミング以外の大半の科目でも、理論だけでなく実践を重視した演習中心の授業を展開予定です。



主なカリキュラム構成

一般科目	教養（知識、思考、心の豊かさ）や、専門分野を学ぶ上で必要な基礎力	言語、アート、自然科学、哲学、数学、歴史、社会、環境、体育 など
専門科目	専門分野の知識や技術と応用力	ITを中心としたテクノロジー、デザイン、アントレプレナーシップ、卒業研究

■ 1週間の学びのイメージ

	月	火	水	木	金
1限 (90分)	テクノロジー		アントレプレナーシップ (起業家精神)		
2限 (90分)	テクノロジー		アート/デザイン		
3限 (90分)	一般科目				
4限 (90分)	フィールドワーク				
放課後	・地域とのコミュニケーション ・放課後活動 など				
寮生活					

「学ぶ」と「生きる」がまるごとある毎日

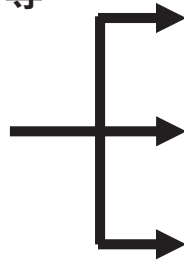
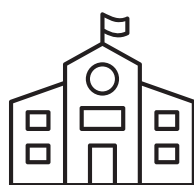
- メリハリのある科目配置
→目的をもって受講できるように、工夫された時間割を展開します。
- スムーズな放課後以降の接続
→地域との接続がしやすいよう、最終時限にフィールドワークを多く配置する予定です。

※左記は一例です。
学年や時期によって配置は異なります

神山まるごと高専を卒業した後の進路

高専卒業後は、就職・編入に加え、「起業」の道も選択できるようにサポートします。
これにより、高等教育としては最も選択肢が広い教育の場を作ります。

神山まるごと高専



企業等への就職



大学への3年次編入



起業

上記内容は構想中の概要であり、変更となる場合があります。

神山まると高専の概要

- 学 校 名 称 : 神山まると高等専門学校 (仮称)
- 学 科 名 称 : デザインエンジニアリング学科
- 開 設 場 所 : 徳島県名西郡神山町 (現・神山中学校に加え、新しい校舎を建設予定)
- 修 業 年 限 : 5年
- 入 学 定 員 : 40人 (総学生数200人)
- 取 得 学 位 : 准学士(工学) ※称号を付与します。
- そ の 他 : 1~3年生は校舎内の寮による生活となります。

神山まると高専の学びにかかる費用は？

- 充実した奨学金(給付型)を用意し、家庭の経済状況に合わせた学費設定を計画しています。
(以下は奨学金の支給がない場合における学費設定です)

入学金	授業料等 (前後期含む)	初年度 納付金	備考(寮に関する費用)
250,000円	2,000,000円	2,250,000円	寮費500,000円、食費300,000円 (ともに年額、予定)

神山まると高専の他に、どんな高専があるの？

区分	学校名	設置場所	学科(コース)
高等専門学校 (私立)	サレジオ工業高等専門学校	東京都	電気工学科、機械電子工学科、情報工学科、デザイン学科
	国際高等専門学校	石川県	国際理工学科
	近畿大学工業高等専門学校	三重県	総合システム工学科 (機械システム、電気電子、制御情報、都市環境)
高等専門学校 (国立)	阿南工業高等専門学校	徳島県	創造技術工学科(機械、電気、情報、建設、化学)
	香川高等専門学校	香川県	機械工学科、電気情報工学科、機械電子工学科、建築環境工学科、通信ネットワーク工学科、電子システム工学科、情報工学科
	新居浜工業高等専門学校	愛媛県	電気情報工学科、電子制御工学科、生物応用化学科、機械工学科、環境材料工学科
	弓削商船高等専門学校	愛媛県	商船学科、電子機械工学科、情報工学科
高知工業高等専門学校	高知県	ソーシャルデザイン工学科 (エネルギー・環境、ロボティクス、情報セキュリティ、まちづくり・防災、新素材・生命)	

※上記の他、全国に49校の高等専門学校が所在しています。

徳島県神山町ってどんな町？

- 高速インターネット網を求めIT企業のサテライトオフィスが集まる、自然豊かな田舎町。
- 海外の芸術家を滞在させ、町民との交流を生み出す「アーティスト・イン・レジデンス」や来てほしい移住者を町が逆指名する「ワーク・イン・レジデンス」、地産地食で町の農業をサポートし、担い手を育てる「フードハブ・プロジェクト」など、オープンな懐の深さを武器に、未来の幸せモデルを次々と創造し続けている。地方創生のパイオニアとして全国からの視察が絶えない「奇跡の田舎」。
- 未来のシリコンバレーとなれる要素が詰まった町。



徳島県神山町への主なアクセス



※ 神山まると高専(仮称)は、バス停「神山中学校前」から徒歩5分の場所になります。

上記内容は構想中の概要であり、変更となる場合があります。



神山まるごと高等専門学校（仮称）

〔2023年4月の開設に向け、設置構想中〕

設置構想についての採用意向アンケート調査

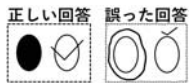
2023年4月に「神山まるごと高等専門学校（仮称）」＜入学定員：40人（総学生数200人）＞の設置を構想しています。このアンケートは、採用ご担当者の皆様からご意見をお伺いし、「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の設置構想に係る統計資料並びに、文部科学省への申請書類の一部資料としてのみ活用し、企業名を公表することはありません。つきましては、アンケートへのご協力をお願いいたします。

※ご回答の際は、別紙の「神山まるごと高等専門学校（仮称）」の概要をご覧ください。

※本アンケート調査は、神山まるごと高等専門学校（仮称）から委託された第三者機関・株式会社高等教育総合研究所が実施しております。

【アンケート記入にあたっての注意事項】

- ・記入は必ず黒鉛のシャープペンシル、または黒鉛筆を使用してください。
- ・訂正する場合は、消しゴムできれいに消してください。
- ・解答用紙（マークシート）を汚したり、折り曲げたりしないでください。



上の正しい回答のように丁寧に塗りつぶしてください。

誤った回答のような場合、正確に読み込めず判断できない場合があります。

問1 貴社・貴機関の主業種として最もよく当てはまるものをお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | |
|--|--------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="radio"/> 情報通信業 | <input type="radio"/> 農・林・漁・鉱業 | <input type="radio"/> 運輸業 |
| <input type="radio"/> 建設業 | <input type="radio"/> 製造業 | <input type="radio"/> 電気・ガス・熱供給・水道業 |
| <input type="radio"/> 卸売・小売業 | <input type="radio"/> 金融・保険業 | <input type="radio"/> 不動産業 |
| <input type="radio"/> 飲食店・宿泊業 | <input type="radio"/> 医療・福祉 | <input type="radio"/> サービス業 |
| <input type="radio"/> その他 <input type="text"/> | | |

問2 貴社・貴機関の従業員数および職員数をお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------------|------------------------------------|
| <input type="radio"/> 50名未満 | <input type="radio"/> 50～100名未満 | <input type="radio"/> 100名～500名未満 | <input type="radio"/> 500～1,000名未満 |
| <input type="radio"/> 1,000～5,000名未満 | <input type="radio"/> 5,000名以上 | | |

問3 貴社・貴団体の本社（本部）および主たる事業所の所在地についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- | | | | | | | |
|---------------------------|----------------------------|---------------------------|----------------------------|---------------------------|---------------------------|----------------------------|
| <input type="radio"/> 北海道 | <input type="radio"/> 青森県 | <input type="radio"/> 岩手県 | <input type="radio"/> 宮城県 | <input type="radio"/> 秋田県 | <input type="radio"/> 山形県 | <input type="radio"/> 福島県 |
| <input type="radio"/> 茨城県 | <input type="radio"/> 栃木県 | <input type="radio"/> 群馬県 | <input type="radio"/> 埼玉県 | <input type="radio"/> 千葉県 | <input type="radio"/> 東京都 | <input type="radio"/> 神奈川県 |
| <input type="radio"/> 新潟県 | <input type="radio"/> 富山県 | <input type="radio"/> 石川県 | <input type="radio"/> 福井県 | <input type="radio"/> 山梨県 | <input type="radio"/> 長野県 | <input type="radio"/> 岐阜県 |
| <input type="radio"/> 静岡県 | <input type="radio"/> 愛知県 | <input type="radio"/> 三重県 | <input type="radio"/> 滋賀県 | <input type="radio"/> 京都府 | <input type="radio"/> 大阪府 | <input type="radio"/> 兵庫県 |
| <input type="radio"/> 奈良県 | <input type="radio"/> 和歌山県 | <input type="radio"/> 鳥取県 | <input type="radio"/> 島根県 | <input type="radio"/> 岡山県 | <input type="radio"/> 広島県 | <input type="radio"/> 山口県 |
| <input type="radio"/> 徳島県 | <input type="radio"/> 香川県 | <input type="radio"/> 愛媛県 | <input type="radio"/> 高知県 | <input type="radio"/> 福岡県 | <input type="radio"/> 佐賀県 | <input type="radio"/> 長崎県 |
| <input type="radio"/> 熊本県 | <input type="radio"/> 大分県 | <input type="radio"/> 宮崎県 | <input type="radio"/> 鹿児島県 | <input type="radio"/> 沖縄県 | | |





問4 貴社・貴機関の高等専門学校卒業者を対象にした採用活動についてお答えください。（あてはまるもの1つにマーク）

- したことがある 検討したことがある 検討したことがない 分からない

問5 「神山まると高等専門学校（仮称）」が養成する人材は、今後の社会においてニーズが高いと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- ニーズは極めて高い ニーズはある程度高い ニーズはあまりない ニーズは全くない
 分からない

問6 「神山まると高等専門学校（仮称）」が養成する人材を、貴社・貴機関で採用したいと思われますか。（あてはまるもの1つにマーク）

- 採用したい 採用しない

問7 「神山まると高等専門学校（仮称）」について期待される点、ご要望等がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力いただきありがとうございました。



【資料 21】

1 (書類等の題名)

DXへの取り組み状況 (業種別)

2 (出典)

「DX白書2021」 (文部科学省)
第1部第1章 (3ページ/図表11-2)

3 (URL)

<https://www.ipa.go.jp/files/000093699.pdf>

【資料22】

1 (書類等の題名)

高等学校卒業生の進路状況について

2 (出典)

「KOSEN (2021年度)」 (独立法人国立高等専門学校機構)
第1部第1章 (15ページ)

3 (URL)

https://www.kosen-k.go.jp/Portals/0/upload-file%20folder/00_kouhou/kosengaiyo2021.pdf

【資料 23】

1 (書類等の題名)

IT人材の”量”に対する過不足感

2 (出典)

「IT人材白書2019」(独立行政法人情報処理推進機構)
(160ページ/図表3-2-14、3-2-15)

3 (URL)

<https://www.ipa.go.jp/files/000093699.pdf>